

(案)

これからの都市交通施策の方向性

2026.06.26 | 検討会

～「拠点」と「軸」でアチコチお出かけを促進～

都市交通施策の再整理に関する検討会 | 中間とりまとめ (概要)

令和8年●月

1 | 背景

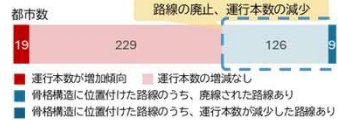
- 若者を中心とした外出率の低下
- 政策理念と計画・事業の乖離 等

マチがイエに“負ける”社会

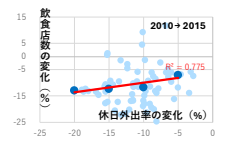
外出率の低下



公共交通軸でのサービス水準悪化



外出と経済の関係

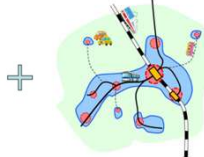


2 | 目指す都市の姿

気軽にアチコチお出かけ
したくなる・できる街



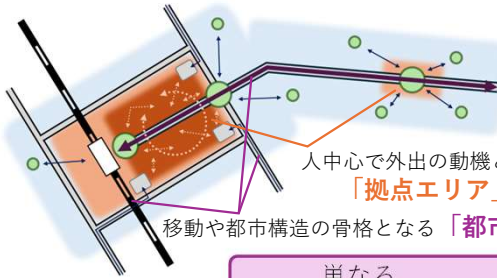
イエに負けない
人を集める拠点



拠点への
出かけやすさ

実現に向けて

まちづくりと一体となった都市交通計画の充実



人中心で外出の動機となる
「拠点エリア」

移動や都市構造の骨格となる「都市交通軸」

単なる
ネットワーク軸

多様な交通手段による
拠点へのアクセス軸

単に
「集まる」
場所
↓
「時を過ごす」
拠点

3 | まちづくりと一体となった都市交通計画の充実

まちづくり施策と都市交通が
一体となった包括的計画

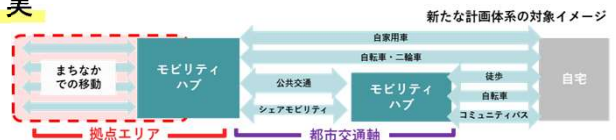
密接に連動

包括的計画の実効性を高める
都市交通に関する計画

政策目標の
実現力の強化

需要創出型の計画
横断的モビリティ計画

- バックキャスト型の目標
- 都市の包括的目標への寄与



《取組の方向性》

- まちづくりに関する包括的な計画への位置づけ
- 地区交通計画の実効性の向上
- 「拠点」と「軸」を連動するプランの実現

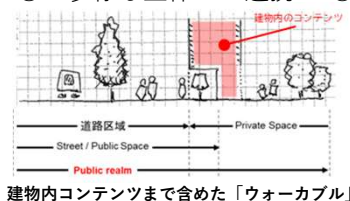
4 | 拠点エリアの魅力や快適性の向上

- 様々な交通モードが適正に処理された人中心で魅力
ある都市空間を多様な主体と連携し創出



《取組の方向性》

- ウォーカブル施策の理念レベルでの再整理
- プレイシビリティ・地区内移動環境・アクセス性の向上
- 多様な主体との連携 ○ 自動車交通の適正な処理

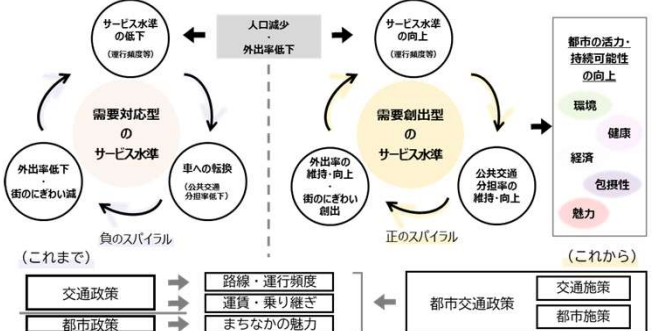


建物内コンテンツまで含めた「ウォーカブル」



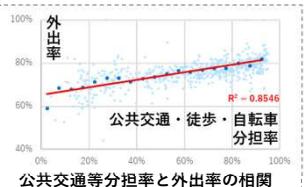
5 | 都市交通軸の強化

- 都市交通軸を担う公共交通は、都市政策と密接な連
携のもと「需要対応型」から「需要創出型」へ発想
を転換し「正のスパイラル」を創出



《取組の方向性》

- サービス水準の向上
- 時刻表を見ずとも気軽に乗れる
軸の形成
- 公共交通の需要創造
- アクセスしやすい交通システム
の形成



6 | さらなる検討事項

- 都市政策と交通政策の実効的な連動強化や各地域への施策展開を図るための方策
- 「拠点」と「軸」を強化するための事業制度の改善や実効的な施策連携の方策
- 拠点エリアの魅力を高める交通モードの適正化のための方策 等